



「球根ミックス花壇」の作り方



開花時期の異なる春咲き球根（チューリップ、スイセン、ムスカリ等）を混ぜてランダムにばらまくと、予想のつかない魅力的な景色になります！

景色の移り変わりや長期に開花を楽しめるのが球根ミックス花壇の特長です。

右記の QR コードからアクセスいただくか、下記で検索いただくと、本書の内容を動画で見ることができます。



横浜市 球根ミックス花壇



3月中旬



4月上旬



step 1 準備

■用意していただくもの

球根、シート、バケツ、軍手、移植ごて、はまっこユークイ等の堆肥（必要に応じて）



step 2 アネモネを水につける

アネモネは、植付ける前に2時間ほど日の当たらないところで水に浸しておきます。



step 3 土をよく耕す

根が十分に拡がるよう、土を柔らかくします。必要に応じて土壌改良としてはまっ子ユーキ*等を事前にすき込みます。球根は比較的、肥料分が少なくても育ちます。既に何かが植えられている場所は不要。

※土 5 : 1 はまっ子 の割合が適量



step 4 通路を明示する

花壇が広い場合は足を踏み入れて管理できるように、管理用通路を足の幅(約10cm程度)、何も植えずに空けておきます。テープなどで植えない部分をあらかじめ明示しておくと、皆で作業する時もわかりやすくなります。



step 5 球根を混ぜる

今回の球根ミックスセットは、すでにミックスされているので、混ぜなくて大丈夫ですが、種類の違う球根を使用する場合は、シートなどを敷いた上で、事前によく混ぜます。

(※この時、アネモネとムスカリは一緒に混ぜないでください。)



step 6 球根ミックスをばらまく

球根ミックスを両手でひとつかみ。植付場所に向かってばらまきます。できれば少し離れた場所から空に向かって腕を広げるような感覚で放ちましょう。バラまきー！

偏っている部分は配置のバランスを見て直します。(アネモネとムスカリは後で別で植えます。)



※品種ごとの植付け手入れ説明は別紙参照

step 7 球根ミックス植付け

(※1年草や多年草と一緒に植える場合はこの時に球根とのバランスを見ながら球根を埋める前に配置します。)

移植ごて等を利用し、球根の大きさに対して3倍程度の深さになるよう植え付けます。球根のとがった方を上にして植えてください。

(チューリップ：10cm程度)

(ミニスイセン：3～5cm)

(シラー：3～5cm)

(スノーフレーク：7～8cm)

(ハナニラ：3～5cm)



step 8 アネモネ・ムスカリの植付け

アネモネとムスカリを植え付けます。パラパラと上からばらまき、配置しますが、アネモネは土と同じような色で見えづらいため、注意が必要です。

アネモネとムスカリは背があまり高くないので、中央の方に多く入れてしまうと他の植物に隠れてしまい、咲いた時に見えづらくなります。淵の方に多く(中央付近はまばらに)配置すると効果的です。

手の指で土に穴をあけて埋めます。アネモネはとがった方を下にして埋めます。

アネモネの球根→



↑ムスカリ

←チューリップ横の
白い花がアネモネ

(ムスカリ：5cm)

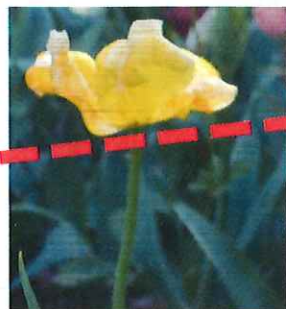
(アネモネ：2～3cm)



step 9 水やり

植付後はしっかりと水やりをしてあげましょう。表面に腐葉土等でマルチング（表土が乾かないよう保護）してあげることをお勧めします。

その後も、土が乾く前に水やりを行ってください。（花が終わるまで）



←点線の部分で
花がらを折り取る。
茎の部分は残して
光合成をさせる。



2年目の秋以降は、チューリップを少し植え足すと、再び華やかにみせられます。

step 10 花が終わった後

花が終わっても、茎や葉が緑色のうちは光合成により養分を蓄えられますので切らずに残します。葉や茎が汚くなったら切り取ってください。チューリップは6月ごろ堀上げます。その他の品種は数年間は堀上げなくても大丈夫です。数年後球根が混みあってきたらチューリップ同様に堀上げ、球根を分けます。掘り上げた球根は秋まで日陰など涼しい場所で乾燥をさせ、秋に再度植えます。（植える時に、他の球根を傷つけないように注意してください。）



今回は球根ミックスセット、アネモネ、ムスカリの球根を用意しています。

球根ミックスセットは、チューリップ、ハナニラ、スイセンなど開花時期が異なる球根が入っています。

自分たちで球根ミックス花壇をやってみたい場合は、早咲き～中咲き～遅咲きの開花時期、色のバランスを考えて組み合わせることで長い期間で楽しむことができます。

主な春咲球根の開花時期の目安





球根の育て方



今回各公園愛護会の方々には、複数種類の球根を含んだ球根ミックスやムスカリ・アネモネの球根を配布しています。育て方については、下記を参考に取組んで下さい。(すべての種類を各愛護会に配布できておりませんことをご了承下さい。)

ポイント

- 🌱 植える深さは球根の3倍の深さにする。アネモネ以外はとがった方を上にして植える。
- 🌱 植え付けた後はしっかりと水やりを行い、その後も土が乾いたら水やりをする。
- 🌱 花が咲き終わったら花がらをこまめにとるとよい。(茎は残す。)
- 🌱 葉が茶色(変色)したら茶色部分をカットする。(茶色くなるまでは養分を蓄えるために切らずに残す。)
- 🌱 葉が枯れたら水やりは不要。
- 🌱 チューリップは6月頃に掘り取り、乾燥させてまた、秋に植えるとよい。(それ以外の球根は数年植えたままでも大丈夫)

■球根ミックスに含まれる球根

チューリップ			
花 期	3月下旬～4月中旬	草丈	30～50cm
植 付	球根は10cmくらいの深さに植える。 <u>尖ったほうを上にして植える。</u>		
手 入	花が終わったら花の頭の部分を持って折り取る。茎は光合成させるために取らずに残す。 6月中～下旬ごろ掘り上げ、ネットなどに入れて風通しの良い日陰で吊して乾燥させ、秋にまた植えるとよい。		



ミニスイセン(テータテート)			
花 期	3月～4月	草丈	10～20cm
植 付	球根は3～5cmの深さに植える。		
手 入	花が枯れたら、花がらを切り取る。 茎と葉は枯れるまでそのままにしておく。葉や茎が枯れてきたら刈り取る。3年に1回程度、チューリップ同様に掘り取って乾燥させて秋にまた植えるとよい。		



シラー			
花 期	4月～5月	草丈	10～20cm
植 付	球根は3～5cmの深さに植える。(アルカリ性土壌を好む。)		
手 入	花が終わったら花がらをこまめにとる。やや乾燥気味を好む。花が終わった後は水やりしなくても大丈夫。 花後にできた種をとっておき、9月頃にまいて上手に育てると3～4年で花の咲く大きさの球根に育つ。		



スノーフレーク			
花 期	3～4月	草丈	20～45cm
植 付	球根は7～8cmの深さに植える。		
手 入	種に養分を奪われないよう、花がらは早めに花茎のつけ根のところで切り取る。(その際に葉を切らないように注意する。) 3年に1回程度、チューリップ同様に掘り取って乾燥させて秋にまた植えるとよい。タネをまいてもふやせますが、開花までに4～5年かかります。		



ハナニラ			
花 期	3～4月	草丈	15～25cm
植 付	球根は3～5cmの深さに植える。		
手 入	丈夫なので放任で大丈夫。また、数年は植えたままで大丈夫。9月から11月に掘り上げ球根を分割して植え直すと増やせる。 5月から6月に実ったタネをすぐにまいても、秋に発芽して増やすことができる。		



■以下2点は、球根ミックスとは別になっています。

ムスカリ			
花 期	3月中旬～4月中旬	草丈	15～20cm
植 付	球根は5cm程度の深さに植える		
手 入	花が終わったら茎を切り取る。 葉の部分は枯れるまで残し、光合成させるとよい。 葉が枯れたらすべて刈り取る。チューリップ同様に掘り取って乾燥させて秋にまた植えるとよい。		



アネモネ			
花 期	3月中旬～4月上旬	草丈	15～30cm
植 付	球根は2時間程度水につけてから、尖っているほうを下にして、2～3cmの深さに植える。下向きがわからない場合は、横向きに植える。		
手 入	加湿を嫌うので蒸れに注意する。花が終わって種の状態のままにしても、さほど翌年の開花には影響がない。 葉が枯れてきたらすべて刈り取る。6月頃掘り取り、チューリップ同様に掘り取って乾燥させて秋にまた植えるとよい。		



R3.11 秋植えの球根配布一覧

泉土木事務所

ネット		球根の種類	数量	単位
A	1	チューリップ	30	個
	2	ミニスイセン (テータテート)	1	個
	3	シラー	16	個
	4	スノーフレーク	3	個
	5	ハナニラ	20	個
B	6	ムスカリ	50	個
C	7	アネモネ	30	個
D	8	チューリップ リサイクル球根 (今年度横浜公園)	50	個

合計

200 個

花苗の種類				
	1	宿根ネメシア	10	個
	2	アリッサム	10	個
	3	ナデシコ	10	個
	4	パンジー	30	個

60 個

